

令和３年度第４回萩市地域公共交通会議 議事要旨

日 時：令和４年３月１８日（金）１４：００～

場 所：萩市役所２階 大会議室

１．開会

【事務局】

只今から「令和３年度第４回萩市地域公共交通会議」を開催致します。

本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、誠に有難うございます。

議事に入るまでの進行を担当させていただきます、事務局の萩市商工振興課の山本と申します。よろしくお願い致します。

会議の開催にあたり、当会議委員の交代がございましたので、ご報告させていただきます。

旭地域住民代表の委員が、水津芳子（すいづよしこ）委員から山本初恵（やまもと はつえ）委員に交代となりました。

それでは、会議の成立要件を確認いたします。

本日は、委員２６名のうち、代理出席も含め２０名の委員に出席していただいておりますので、会議の成立要件を満たしていることを報告致します。

なお、本会議の副会長 九州大学大学院 高野教授は、コロナ感染症に配慮して、リモートでの参加です。

本日の会議は、設置要綱第４条第７項に「交通会議は、原則として公開とする」と規定されていることから、公開とさせていただきます。

なお、会議の開催結果につきましても、基本的に議事録などを市のホームページ等で公表することとしておりますが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

続きまして、本日の会議資料を確認させていただきます。

本日の会議資料は、次第、委員名簿、出席者名簿、配席図。それから、資料として、資料１～資料３まで、用意しております。資料の不足がございましたら、会議の進行中でもお伝えいただければ、用意致しますので、よろしくお願い致します。

それでは、開会にあたりまして、本会議の会長 萩市商工観光部 山本理事がご挨拶申し上げます。

2. 会長あいさつ

【会長】

本会議の会長をさせていただきます、萩市商工観光部の山本です。開会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

本日は、年度末に、ご多忙のところ、皆様方にはご出席いただき誠にありがとうございます。今、新型コロナウイルス感染症は第6波がなかなかおさまらない状況が続いており、萩市におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長引いており、公共交通の利用者の減少もなかなか戻らない状況が続いています。そうした状況ではありますが、萩市といたしましては、高齢化が進む中で、市民の生活に欠かせない移動手段として、交通事業者の協力をいただきながら、利用しやすい交通ネットワークの構築を図るべく、さまざまな施策を推進しているところであります。本日は、すでにこれまでも、ご協議申し上げている「まぁーるバス」の運行ルートの見直しについて、昨年11月、12月の2カ月で新しいルートによる実証運行を行いましたので、その状況の報告と本格運行に向けた最終的な見直しの方向性について、ご確認申し上げたいと考えています。

また、令和元年12月に策定いたしました「萩市交通ネットワーク計画」に掲げている目標に向けた現状、令和4年度における推進事業等、ご説明申し上げたいと存じています。

今、高齢化が進む中で、移動手段の確保、利便性の向上につきましては、大きな課題となっております。それぞれ各方面から、忌憚のないご意見をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

先ほど事務局からご紹介がありましたが、本会議の副会長をお願いしております、九州大学の高野先生は、オンラインでの参加となります。先生、どうぞよろしくお願いいたします。甚だ簡単ではございますが、本会議の開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

3. 議事

- (1) 萩循環まぁーるバスの実証運行の調査結果報告と見直しの方向性について（資料1）

【事務局】

資料1を説明。

【会長】

それでは、ご意見・ご質問がございましたらよろしくお願いいたします。

【防長交通株式会社 斎田取締役副社長】

実証運行を担当しています。

現行のまあーるバスとは別に今回実証運行用のバスを設けられましたが、市民の方は新しいものに対する不安感もあり、実証運行用のバスに乗られなかった方もおられたのではないかと思います。乗車前にどちらのバスが早く目的地に着きますかと問い合わせがあった際には実証運行用のバスが早く着きますとご案内したこともありますが、なかなか今までのバスから新しいバスに移り移るのは難しかったのではないかと思います。

また、ご報告いただいたように、今後もまあーるバスを継続するためには、市民の方だけではなく、観光で来られた方を乗せることで収入を上げることが必要ではないかと思います。今回、東回りで萩反射炉、西回りで東萩駅に立ち寄るということで観光客の利便性が高まり、観光客による運賃収入で市民の皆様の足となるバスが支えられるという構図になるのではないかと考えております。

運行時分についてもこのくらいになるかと思いますが、新しいルートに切替わると実情に応じて調整の必要もあるかと思っています。また、高齢者の方が多く利用されるため、乗降時間なども考慮する必要はあるかと思っています。

調査とは別の話ですが、ICカードの導入を検討中で、1年後にまずはまあーるバスだけ先行して予定しております。さらにその1年後は萩市内に発着する全てのバスでICカード導入予定です。これによりさらに利便性の向上が図れると思います。

【事務局】

斎田委員のお話のとおり、収入確保が必要ですので、観光施策との連携も含めてまあーるバスの利用者向上に努めていきたいと考えております。

また、時分の調整等においても今後、防長交通株式会社と細かい調整をしながら進めていきたいと思っています。

【山口運輸支局 中山首席運輸企画専門官】

本格運行の時期はいつくらいになりますでしょうか。

【事務局】

これから運輸支局様や道路関係者との調整が必要になりますが、本格運行の目安としては、今回の方向性を基に年度明けの交通会議で最終決定させていただき、夏頃（7～8月）の運行スタートを想定しております。

【萩地域代表 稲原委員】

調査結果の分析については専門の方は入られていますか。

【事務局】

交通計画策定の時期から、日本工営株式会社という専門の方に入っていており、本日もそちらから説明いただいています。

【吉屋土木建築部長】

西回りは好意的、東回りはやや現行が良いという回答状況かと思いますが、やはり実証運行の難しさと言いますか、東回りは元々8の字運行ということもあっての結果かと思いますが、そのあたりはいかがでしょうか。

【事務局】

東回りは反射炉への乗入れ以外、今回大きな変更をしておりませんので、短縮効果もあまりないということなども原因かと思います。1つ反省点としては、実証運行では5便ほど運行しましたが、本格運行になった場合も5便になるという印象を与えてしまったというところに関して、説明不足だったと感じております。

【会長】

補足しますと、1周80分で便数が減った場合の意見について、本格運行時の具体的な便数を明示し、それについての意見をいただく内容にするべきであったと思います。今回、西回りは8の字運行により利便性が向上しましたが、東回りは元々8の字運行であり、大きな変更はなく時間が短くなるという印象をもたれなかったのではないかと考えております。また、松陰神社の辺りなどは遠回り感がより強調されるようなルートになってしまったところも時間がかかる印象を与えた可能性もあります。ただ、ルートとしてはこれまでの住民の方からの様々な意見を取り入れて決めた経緯もあり、この方向で進めたいと考えます。

【防長交通株式会社 斎田取締役副社長】

現行便と実証便の比較はできませんが、乗務員の声として、観光客はこのルートが良いと聞いております。やはり、萩は観光のまちであり、そういう点でもこのルートが良いのではないかと思います。

【萩地域代表 稲原委員】

事務局としての考察をもう少し出してもらえればと思います。また、議会でも交通会議のように説明をされるのでしょうか。

【事務局】

実証ルート案を元にして、基本的にはこの方向で調整したいと考えています。議会に対しましては、3月議会定例会の中で、本日ご協議いただいております内容を、交通会議で諮るという説明をしています。また、夏頃の本格運行の直前の議会でも説明する予定としています。

【むつみ地域代表 大田委員】

社会福祉協議会の方で、実証運行のバスに乗ってみようという話があったかと思います。資料をみると日頃利用されていない方が40人くらいおられますが、これが試しに乗られた方で、その方たちの意見が反映されていないのではないように見えるのですが、いかがでしょうか。

【事務局】

反映していないというわけではなく、データ上は入っていませんが、声はいただいたところです。先ほどの実証結果の説明の中で少し話がありましたが、乗ったことのない人には、現行と実証の比較ができないという面もあり、アンケートには入れていませんでしたが、アンケート項目での工夫は必要だったかもしれないと考えています。

【九州大学人間環境学研究院 高野教授】

まあ一バスは日常生活を支えるという面と観光での利用という2つの目的があり、今回の調査ではその結果が出ているように思います。

その中で、通院・買い物は乗車する時間の調整は可能かもしれませんが、通勤での利用は最終便の時間変更等の影響が大きいことも想定されます。

これまでの利用者と新たな利用者のバランス、利用目的別での変更への対応・案内

の工夫などを検討することも重要かと思います。

【事務局】

今日は主に調査結果をお示ししたところまでですが、今後、本格運行にあたっては十分な周知が必要と考えています。市民の方、観光客の方それぞれに必要な周知を考えていきたいと思っています。

【会長】

その他なければ、このルートの方で承認いただける方は挙手をお願いします。

－ 全員挙手につき承認 －

【会長】

詳細なダイヤ等の調整は、また改めて新年度での交通会議、運輸局への手続き等を踏まえて、決定していきたいと思っています。

(2) 萩循環まあるバスの運賃の適用方法の見直しについて（資料2）

【事務局】

資料2を説明。

【会長】

それでは、ご意見・ご質問がございましたらよろしくお願いいたします。

【会長】

この見直しについて承認いただける方は挙手をお願いします。

－ 全員挙手につき承認 －

【会長】

それでは、資料の記載のとおり、萩循環まあるバスの運賃の適用について、4月から適用させていただきます。

4. 報告

(1) 萩市交通ネットワーク計画で定める目標と現状について（資料3）

【事務局】

資料3を説明。

【会長】

ご意見ご質問ありましたら、お願いします。

地域の方からは何かご意見等ございますか。

【むつみ地域代表 大田委員】

むつみ地域ではぐるっとバスをデマンド化したことにより、稼働率は上がっている状況です。デマンド化して良かったと思いますが、デマンドは予約が必要であり、どうしても高齢者の方は予約がしにくい（苦手）という問題がありますので、そのあたりの考慮も必要かと思います。地域の交通の問題は、その地域の協議会のような話し合いの場で考えていくことだとは思いますが、進め方や検討内容についてなど、アドバイスや調整等をお願いしたいと思います。

【事務局】

お話しされましたとおり、予約がし難いという状況はあると思いますが、予約不要の定時運行では運行ルートを限定することとなる等、利便性の問題も出てきます。このため、例えばデマンド予約の方法等を大きく表示する周知方法等も必要と考えています。また、このような課題に対応していくためには、まず、地域の中でご協議いただくことが必要だと思います。そして、事務局の商工振興課も地域と連携して一緒に考えていきたいと思っております。

【会長】

現在、各地区で取り組まれております。福祉施策のささえあい協議体や地区社協でも高齢者の方の移動手段問題はいつも議論になっています。総合事務所でも移動手段についての話もあると思いますので、総合事務所との連携なども検討いただければと思います。

【福栄地域代表 波多野委員】

福栄地域では、昔に比べて人口が半分くらいになっています。10年前とは状況が

変わってきているので、実情に応じた効率的で利便性の高い運行をお願いします。

【事務局】

福栄地域においても総合事務所の方で地域の移動手段を検討しております。
利便性の向上について、総合事務所と連携して、引き続き考えていきたいと思いを
す。

【旭地域代表 山本委員】

旭地域ですが、以前のぐるっとバスは定時路線だけで、通院の時間での接続が良く
ないなどの問題がありました。現在はデマンドも導入されて、路線バスとの接続も
改善されています。そして、HAGICA を使って 100 円でバスが利用できるのでは
と助かっています。バスの利用は運賃負担が問題でありましたので、100 円の運
賃は大変助かっています。

私自身は、地区社協に所属していて、高齢者の方に利用を呼び掛けておりますが、
わざわざタクシーを呼ぶことを控える傾向があったりします。遠慮なくデマンドを
利用してほしいと思います。

【事務局】

HAGICA の効果として、外出することで元気になるという側面もあるかと思いま
す。引き続き、普及にもさらに力を入れていきたいと思えますし、ぐるっとバスは
路線バスとの接続も行っているのです、是非ぐるっとバスは、HAGICA を利用してい
ただくよう、委員の方からも PR していただければと思います。

【会長】

高野教授、全体を通していかがでしょうか。

【九州大学人間環境学研究院 高野教授】

今回もリモート参加となり、失礼しました。

資料3の説明とただ今のご協議のとおり、まあーるバス、デマンド、福祉
輸送など色々な輸送手段がある中で、それらをいかに組み合わせて、生活をより良
いものにしていくかが重要だと思います。

そうした仕組みがうまく構築されることを期待しています。

【会長】

ありがとうございました。

本日は、まあーるバスの本格運行に向けたルートの話、交通ネットワーク計画の推進の話などご協議いただきました。特段のご意見がないようですので、協議は終了させていただきたいと思います。

今後、事業者・地域との連携により、より良い公共交通を目指していければと思います。では、事務局にお返しします。

5. 閉会

【事務局】

委員の皆様には、長時間にわたってご議論をいただき、誠にありがとうございました。なお、先程、ご協議いただきました、まあーるバスの本格運行を進めていくにあたりましては、運行内容の詳細について、各関係機関への協議等も必要になると思いますので、ご協力いただきますようお願い致します。

以上をもちまして、令和3年度第4回萩市地域公共交通会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

以上